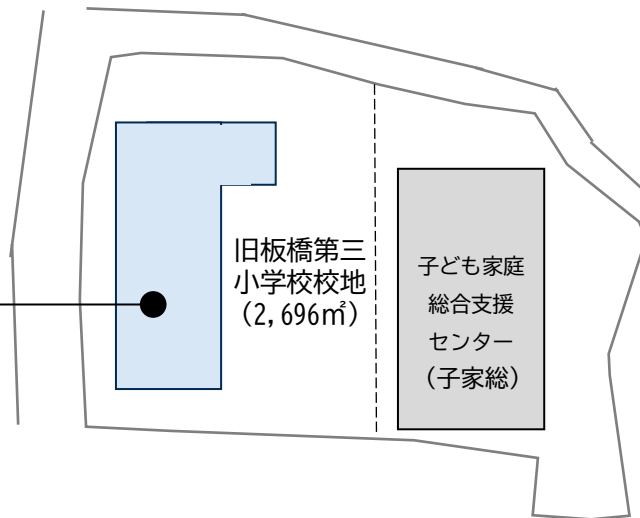


旧板橋第三小学校跡地活用方針及び施設整備構想・計画（中間のまとめ）（案）について

1 資産の現況及び検討の経緯

【旧校舎】

- いたばし総合ボランティアセンター：385㎡
- 公文書館（櫻井徳太郎文庫含む）624㎡
- 更生保護サポートセンター（2階）
- 板三小・稲荷台小記念室（2階）
- 統計係分室（3階）



■検討の経緯

- 平成14年度より公文書館・いたばし総合ボランティアセンター等の暫定活用開始。
- 平成30年度、「旧板橋第三小学校跡地活用基本構想」策定。
- 令和2年度、No.1 プラン2025にて方針策定等を令和6年度以降へ先送りする旨議会報告。
- 令和7年4月、「旧板橋第四中学校跡地活用方針」の報告の際に、旧板橋第三小学校の活用を並行して検討する旨議会報告。
- 同年7月、プロポーザル方式により整備構想・計画策定支援委託事業者選定。

所在地	本町24-1（住居表示）
敷地面積	2,696㎡
建物面積	2,703㎡
用途地域	準工業地域・第2種特別工業地区
建蔽率/容積率	60%/300%

2 住民説明会等の主な意見・課題の整理

■住民説明会・施設利用者アンケートの主な意見

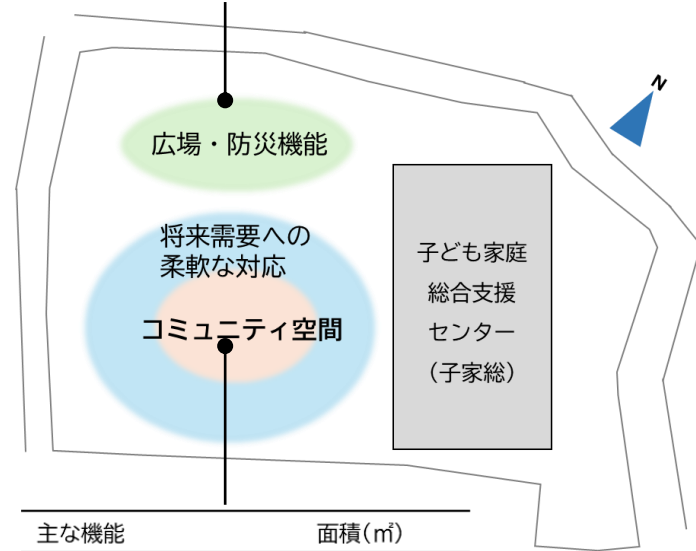
- ボランティアセンター等、既存施設が本移転するまでの間の機能継続を求める。
- 安心・安全のための地域拠点として防災広場の整備や防災機能の強化を望む。
- 旧小学校の特性を活かし、子どもの遊び場や学習スペース等の整備を期待する。
- 町会やサークル活動など、地域交流が活性化する機能を求める。

■課題の整理

- 広場・集会所設置要望への対応
- 既存施設の機能継続
- 旧板橋第四中学校を含め、本庁舎周辺の公共施設整備を見据えた、既存サービスの継続を前提とした段階整備・工事の検討

3 跡地活用方針・施設整備構想（ゾーニング案・活用の方向性）

主な機能	面積(㎡)
交流広場	約1,000㎡(既存)



主な機能	面積(㎡)
本町集会所	約70㎡(既存)
※建築可能面積	約4,000㎡(想定)

広場・防災機能強化

- 一時集合同所に位置付けられている広場機能継続
- 地域防災機能の維持・継続をするための防災備蓄倉庫の整備



コミュニティ空間整備

- 本町集会所を移転を軸に、集会所機能を整備
- 緑を感じながら気軽に集い・休憩ができる広場空間の整備



将来需要への柔軟な対応

- 本庁舎周辺公共施設整備を円滑に進める受け皿
- 増加する要支援児童への対応強化として子家総を補完するほか、将来需要へ柔軟に対応



4 施設整備計画で検討すべき今後の検討課題

- 隣接する子ども家庭総合支援センターと連携する機能
- 本庁舎周辺公共施設整備とあわせた仮移転計画の検討
- 既存機能継続の観点から、仮移転先・本移転先の検討

	仮移転の方向性	本移転の方向性
ボランティアセンター	近隣での移転を検討	旧板橋第四中学校跡地
公文書館		本庁舎周辺公共施設整備にあわせて移転先を検討
更生保護サポートセンター	検討中	
旧板三・稲荷台小記念室	近隣での移転を検討	

5 想定スケジュール

令和7年度	令和8年度	令和9年度以降
跡地活用方針	基本構想・基本計画	設計・工事